

# スプリンクルスリム 施工・取扱説明書

対象製品番  
G17SS□/G17BS□/G18SV□  
G19SV□/G19BV□

ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、  
正しくご使用下さい。

●お客様へ  
お読みになった後は、お使いになる方が  
いつでも読める所に必ず保管して下さい。

●工事店様へ  
施工後、この説明書をお客様へお渡し下さい。

## 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明して下さい。

### 注意

- 修理技術者以外の方は、水栓柱本体内部を分解しないで下さい。故障や水漏れの原因になります。
- 凍結が予想される地域では必ず水抜き栓を設置して下さい。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 配管の深さは各自治体ごとに決まり（凍結深度）が異なります。100mmより深い場合は指示に従って下さい。浅いと凍結による管破損などの可能性があります。
- 散水用です。飲用などの用途には使用できません。

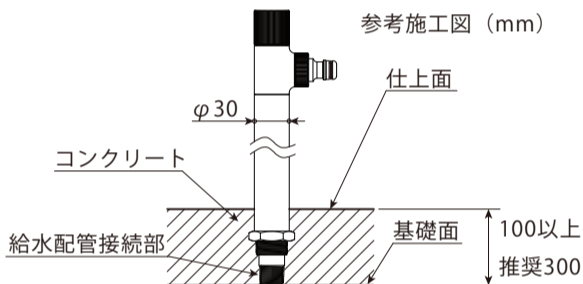
## 適切な使用条件

給水圧力	最低必要水圧（流動時）0.05MPa	最高使用水圧（静止時）0.75MPa
使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水	
用途	散水用	

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧して下さい。

## 施工手順

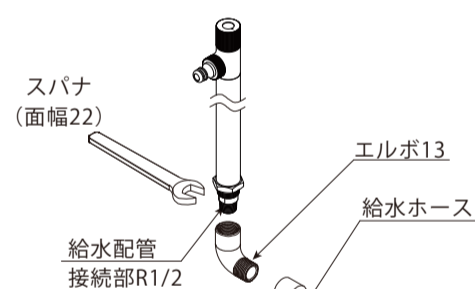
### 1 設置場所の確認 - 給水配管の位置を確認する。



### 注意

- 水栓柱は住宅の基礎面上に設置して下さい。
- P C板などの十分強固な上に設置して下さい。
- 配管の深さは各自治体ごとに決まり（凍結深度）が異なります。100mmより深い場合は指示に従って下さい。

### 2 水栓柱の取付け - 水栓柱を所定の位置に立てかけ、給水配管を接続する。



### 注意

- 接続の際は、給水配管接続部が回らないよう、スパナ等の工具で掴んで接続して下さい。
- 取付け前、取付け後には必ず通水し、配管のゴミを洗い流して下さい。（フラッシング）※フラッシング不足に起因する水漏れや破損は、購入からの期間に関わらず有料修理となります。施工後数日~数ヶ月で、『水が出ない』『止まらない』等のお問い合わせが頻発しております。その一番の原因は、フラッシング不足により、『蛇口の施工時に発生したゴミ等が止水部に詰まるため』です。

### 3 通水確認

蛇口の施工後に、水が流れるか、止水できているかどうかを点検します。このとき、確実にフラッシングを行ってください。

フラッシング：蛇口を全開し、約30~60秒間勢いよく通水を行ってください。

## 凍結予防

### 凍結が予想される地域では、必ず水抜き栓を設置してください。

※凍結による破損で水漏れが発生する場合があります。

水抜き栓を設置していない現場で、凍結のおそれがある場合は、水栓より少量の水を出してください。

※水を流し続けることで、凍結を予防できる場合があります。（目安として1分間に牛乳缶1本程度）

※凍結による破損はお取付けの地域、購入からの期間に関わらず有料修理となります。一度でも凍結すると破損し水漏れが発生するため、確実に凍結予防策を講じてください。



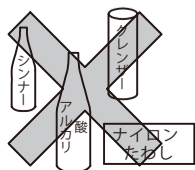
## 日頃のお手入れ

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取って下さい。
- 汚れが目立つ場合は、お湯(40℃)で薄めた中性洗剤で軽く拭き取り、その後よく水拭きしてから、布で乾拭きして下さい。

### 注意

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類  
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし など



## ご使用に関する安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

### 警告

- 小さいお子様だけの使用は、避けて下さい。やけど・けがをするおそれがあります。

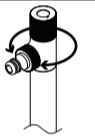
### 注意

- 製品に強い力や衝撃を与えないで下さい。故障や水漏れの原因になります。
- 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないで下さい。器具が破損し、けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないで下さい。磨耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に吐水口部から微量の水がにじみ出るおそれがあります。
- 解氷機やアースを水栓に通電しないで下さい。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- めっきや塗装面の部分はぶつかけたり、無理な力で操作しないでください。※表面が剥がれて、けがをするおそれがあります。万が一、表面が割れた場合はただちに交換・修理を依頼して下さい。
- めっき部分や塗装面には鋭利なものや硬いものを当てないでください。※めっきや塗装面が剥がれる原因になります。めっきや塗装面が剥がれた場合はけがをするおそれがありますので、早めに部品交換して下さい。
- 表面をこすると、色落ちしたり、表面素材が剥がれる恐れがありますので、ご注意ください。
- 洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐきれいに拭き取ってください。本体の割れや変色変質の原因となります。

## 定期的な点検：稼働部の確認

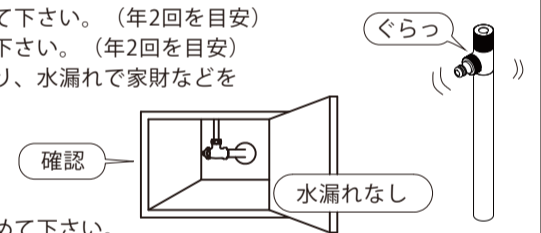
可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので、工事店様に修理をご依頼下さい。吐水口の点検については下記を参照下さい。

月1回を目安に、定期的に吐水口を回して下さい。吐水口を長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。吐水口が回らなくなった場合は、工事店様に修理をご依頼下さい。



## 定期的な点検：配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認して下さい。（年2回を目安）定期的に、器具のガタツキがないか確認して下さい。（年2回を目安）劣化・磨耗などで部品が破損し、けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



水漏れを確認した場合は、配管中の元栓を閉めて下さい。

## 各部の名称

●交換部品の手配や、交換手順としてご参考ください。

